

4月27日 防災教育の日



定例総会のご報告



すぎもり地区協議会
会長 中島俊子

5月11日すぎもり地区協議会の令和6年度定例総会を開催。令和5年度活動報告・決算報告、令和6年度活動方針・予算案の4議案すべてが審議承認されました。



『いつか来る“もしも”のために』 地域でつながり災害対策

「心豊かな子どもが育つ地域」

子どもたちに一人一台タブレットが支給され、黒板が電子に代わり、ノートや教科書がPCに格納され、電話機がなくなり、ネットがテレビにとって代わろうかという時代。子どもたちの遊びはというと、野球やサッカーなどは習い事の世界に移り、学校の校庭以外で鬼ごっこや縄跳びをしている姿を見かけることはなくなりました。ここに追い打ちをかけるようなコロナ禍。仕方ないとはいえ過剰ともいえるくらいの生活様式の変化を強いられ、子どもたちの遊びも個別化しています。

コロナ禍において、多くの地域でイベントが消え、人のつながりが希薄になり、結果人同士が疎遠になってしまいました。他方、日本のあちらこちらで地震がおり、亜熱帯かと思わせる気候変動は台風を巨大化し被害を甚大化しています。このような災害時は、地域の人をつな

調布市立杉森小学校 校長 濱松章洋



がりがなければ、最低限の安心さえ担保することは難しいといわれています。

しかし、ありがたいことに、この杉森小学校・第三中学校の地域には、すぎもり地区協議会があり、子どもたちはもちろん、地域防災の要となってくださっています。勿論、防災や減災は、一番重要な目的ではありますが、実は、このような思いのある地域の方々の中で育った子どもたちは、地域の絆とそれをつなぐ大人の在り方を自然のうちに学び、心の中にしみ込ませているのです。

だから、このような活力ある地域で育った子どもたちは、やがて大人になり、それぞれの住む地域で、子どもを守る側へと成長を遂げてくれます。今や、子どもたちの豊かな成長に欠くことのできない杉森地域の皆様。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



調布市職員のリーダーさんを中心に訓練が行われました。すぎもり地区協議会では健全育成や地域の方とともに、三中と杉森小に分かれて参加。「避難所の建物利用調査」、「非常電話の確認」、「受付設置」などの訓練をしました。

調布市職員の皆様

杉森小での
訓練の様子



菊池さん



左から下畑さん、穴戸さん、鬼塚さん



『杉森小での訓練は2回目です。地域によって防災の取り組み方の違いを感じます。』

防災訓練

防災教育の日

4/27
(土)



仮設テント



非常電話確認



石津孝介副校長先生
布田小から来ました。子どもたちの笑顔をいっぱい作りたいです。よろしくお願いします。



非常用グッズ見学



LED投光器の確認



用務主事 平澤和好さん
31年間、用務主事として市内の小中学校を経て、杉森小にきました。どうぞよろしくお願いします。

三中での
訓練の様子



防災倉庫確認



簡易ベッド体験



避難所個人区画



保存食



非常グッズ展示



簡易トイレ

4/14
(日)

災害時のペット同伴訓練 『愛され犬の育て方』 講演会開催

すぎもり地区協議会副会長 大町忠敏



「愛され犬の育て方」と題して、調布市「犬の飼い方・しつけ方教室」の講師・西村トシオ氏にお話を伺いました。会場は仮設店舗の一角「みんなの部屋」（5月で閉鎖）、約40名の飼い主さんと数匹の犬が参加しました。

まず、犬についての基本的な話から。犬は足の裏の肉球で汗をかき、体温を下げるのは呼吸に頼っているため、夏の散歩で熱いアスファルトの上を歩かせるのは熱中症の危険があるとのことでした。

防災備品として、ペットの避難袋に食器やドッグフードを準備している飼い

主さんは多いと思いますが、今回意外に感じた物はラジオです。西村講師によると犬を安心させるにはラジオが効果的とのことでした。犬は音がしないと不安になるので、雑音があると安心するそうです。

日頃の訓練としては、小さな地震のとき、犬を呼んでおやつをあげることを繰り返しておくことと大きな地震でも大丈夫で、さらに緊急地震速報の音がしたらハウス(クレートやケージ)に入っておやつをもらうという訓練をしておくこととパニックを防げるとのことです。



台風19号の時はグリーンホール1階に避難者がペットと一緒に避難しましたが、犬はおとなしくしていませんでした。私たちはペットと一緒に避難することを「ペット同伴避難」と称してきましたが、「ペット同室避難」とした方が分かりやすいと西村講師に教えていただきました。

講演終了後、参加者にアンケートをお願いしたところ13人の方が回答してくださいました。参考になったこととして、「犬を落ち着かせる方法を知ることが出来て良かった」という回答が半数近くあり、その他にも貴重な意見をいただきました。アンケート結果は、今後の活動に活かしていきたいと思っています。

過去の災害を忘れない

防災士 加藤洋子

今年が多摩川水害から50年の年です。多摩川水害とは、1974年(昭和49年)9月1日、台風16号の影響により多摩川が増水、狛江市の猪方付近の農業用取水堰に大量の水がぶつかり迂回流が発生、左岸(上流から下流を見て左側)の堤防を大きくえぐり、その結果 19軒もの住宅が濁流に流されたという水害でした。

私は当時中学生でしたが、その時に見聞きしたニュースやのちに制作されたドラマ「岸辺のアルバム」で使用された映像が今でも鮮明に記憶に残っています。それから約20年後に縁あって杉森地域に住むことになりましたが、多摩川は穏やかな流れで自然に恵まれた良いところだなあという印象で、最初は多摩川水害の記憶とつながりませんでした。

しかし、何度か台風や大雨に遭遇するうちに、ふだんは穏やかで水量の少ない多摩川が短い時間で堤防の際まで増水するのだとわかり、恐ろしくなりました。最近では2019年(令和元年)



連載 防災コラム
備えあれば ⑪

の台風19号で杉森地域でも多くの箇所で浸水被害が発生しましたが、災害の履歴を忘れずに振り返り、災害対策に生かしていくことが大切だと思います。

『地域を知ろう』

染地地域福祉センター (染地3丁目)



5/19
(日)

ボランティアまつり『染地マルシェ』

すぎもり地区協議会は550パックのアルファ米を配布。お天気が心配でしたが、大盛況で無事終了しました。

【開催予定】 8月30日(金)・8月31日(土)

杉森地域納涼盆踊り大会

※現在杉森小校庭改修工事のため、状況により開催が判断されます。
ご了承ください。

【開催決定】 10月20日(日)

地域運動会



生活の相談、ボランティア・地域活動の相談等は… 「調布市社会福祉協議会」の地域担当へ



左から 高畠 渡邊 中村

誰もがいきいきと安心して暮らせるまちづくりを目指して、子どもから大人までの生活上の困りごとの相談、趣味・関心事やボランティアを通じた仲間づくりの相談を受けています。その他にも、近所に心配な方がいる、地域で活動を立ち上げたいなどの相談は地域担当まで。

- 染地地域福祉センター内 染地ボランティアコーナー
TEL 481-3790 火～土 9時～17時
ボランティアコーディネーター 渡邊 久美子
- 調布市総合福祉センター内 地域支援係(染地・杉森・布田小エリア担当)
TEL 481-7693 月～金 8時30分～17時30分
地域福祉コーディネーター 中村 竜
地域支え合い推進員 高畠 有美



福祉や介護に関する相談等は… 「調布市地域包括支援センターときわぎ国領」へ

高齢の方やそのご家族が、地域で安心して暮らせるよう、福祉や介護に関する様々な相談ができる総合相談窓口として調布市から委託を受けている機関です。担当地区は、染地全域、国領町6・7丁目、布田5・6丁目、多摩川6・7丁目です。お電話での相談や、状況に応じて職員がご自宅に訪問することもでき、介護保険の申請や適切なサービス等をご案内しております。困った時にはお気軽にご相談ください。

所在地: 国領町7-32-2 デュスモン国領101

電話: 050-5540-0860

開所: 月～土 9時～18時

夜間及び日曜は転送電話対応



「夏こそやってみよう! 振り返ろう! 10の筋力トレーニング」

参加費
無料

調布市が推し進める介護予防運動「10の筋力トレーニング(通称: 10筋)」、地域の高齢者が主となって染地ふれあいの家で毎週木曜日14時から開催しています。その場をお借りして、10筋をおさらいする講座をこの夏も開催いたします。すでに10筋をされている方はもちろん、10筋をやってみたい・興味がある方もぜひご参加ください。

日時 令和6年7月18日(木) 14:00～15:30

内容 保健師による10の筋力トレーニング解説&

熱中症予防ミニ講座

※参加者全員にネッククーラーを配布します

場所 染地ふれあいの家(染地3-8-26 多摩川自然情報館併設)

参加費 無料

申込み 不要

直接会場に
お越しください

